



2022-23RI 会長:ジェニファーE.ジョーンズ ガバナー:村田貴紀 会長:岡田則之/幹事:坂田幸彦 例会日:木曜日
午後 12:30 開会会場:ホテルガーデンパレス熊谷 編集・発行:クラブ会報委員会 委員長:宮内和広

第2666回 2022年 7月第4例会 7月28日(木)

[ガバナー公式訪問]

ガバナー 村田貴紀 様(2570パスポート RC)

- 点鐘 / 岡田則之 会長
- ロータリーソング/四つのテスト 唱和
- 会長の時間 / 岡田則之 会長
- 幹事報告 / 坂田幸彦 幹事
- 来訪者紹介:第2570地区 第5グループ
ガバナー 村田貴紀様(2570パスポート RC)
地区幹事 日向秀一様(2570パスポート RC)
ガバナー補佐 新井裕喜様(羽生 RC)

- 村田貴紀ガバナー 卓話
- 謝辞 / 岡田則之 会長
- 出席状況・ニコニコ報告 / 松本和文会員
- 点鐘 岡田則之 会長

司会進行:武笠 毅会員



行田ロータリークラブ 7月第四例会 村田貴紀ガバナー 公式訪問記念



皆さんこんにちは今日はガバナー公式訪問例会にあたり、村田ガバナー様ようこそ行田ロータリークラブへ。または、3週続けてのご来訪いただきました新井ガバナー補佐様、そして地区幹事日向様ようこそ行田ロータリークラブへお越しいただきありがとうございます。熱烈歓迎いたします。そして、ご指導のほどよろしく申し上げます。今日は11時30分より村田ガバナーを囲んで何人かの行田ロータリークラブのメンバーはガバナーと懇談をしました。村田ガバナー様より色々な角度からロータリー活動を見た方が楽しく有意義なロータリーライフが経験できるのではないかとアドバイスをいただきました。村田ガバナー様ありがとうございます

ました。さて、今週の日曜日、7月24日ですが国立女性教育会館において地区幹事の社会奉仕委員会と子ども家庭委員会の合同セミナーが行われました。行田ロータリークラブより私と会長エレクトの坂本会員で参加してきました。社会奉仕委員会セッションでは坂本元彦パストガバナーの基調講演があり、アンケートから見た地区内クラブの社会奉仕活動の現状と今後の報告されました。そして、社会奉仕活動の取り組み事例が三つのクラブより発表がありました。また、子ども家庭委員会では、埼玉県の福祉部少子政策課の取り組みの報告がありました。行田ロータリークラブも地区の活動方針に合致する事業を来週の例会において度社会福祉法人へ[子供のたちの心を育てるため]のイベントで使用する機材の援助金の贈呈があります。そして、奉仕活動の重要性を改めて認識致しました。ここにご報告いたします。

さて、本日の会長の時間は「私が住んでいる町内の祭り」について少しお話しをさせていただきます。私が住んでいるのは行田市行田の「下町」です。今から25年から35年ぐらい前に「本町」は姉妹都市関係の桑名から桑名囃子を取り入れて本町のお囃子としました。下町はおかめ・ひょっとこが舞う俗に言う「ばっかつ囃子」でしたが、子供たちにあまり人気がなかったので下町の重鎮たちに相談しお囃子を変更することになりました。本町からは本町と同じ桑名囃子したらどうかとお言葉をいただきましたが、相談の結果、祇園囃子になりました。お祭りの準備はまず太鼓と鐘(梵鐘)を買うことから始まりました。

太鼓は以前購入した太田の太鼓店から購入し、鐘は祇園囃子のものは大変高額なので桑名囃子の鐘を使うことになりました。祇園祭のお囃子にしたことにより子供達も中学生も高校生も大学生もみんながお祭りに参加をするようになりました。平行して青年部で用意をした半纏も子供達にとっては魅力の一つになりました。それからしばらくの間お祭りの時には多くの参加者を募ることができ非常に楽しいお祭りが実行できました。

もうひとつの問題は祇園囃子を子供たちにどう教えるかということでした。まずは青年部の人達が覚えそして子どもたちを指導するということになりました。祇園囃子の指導をお願いしたのは山本憲作会員の旭町のお囃子会の皆さんでした。横笛・太鼓・大太鼓・鐘 全て初めてでしたが一生懸命練習しなんとかみんな演奏できるようになりました。

私の担当していた横笛は息子が引き継いでくれることになりました。私の息子は中央小学校の吹奏楽部でクラリネットを担当していたので、肺活量には自信があり、横笛の指の動きもなめらかですぐに上達しました。

こうして若手に祇園囃子を引き継いでもらいましたが、だんだんと人が減り小学生が下町に5~6人しかいなくなりました。そこでお囃子会を立ち上げ町内外からも人を募集するようにしたところ他の地区の子供たちも参加してくれるようになりました。大変楽しいお祭りが行けるようになり喜んでます。コロナでこの3年間できなかったことは非常に残念でしたが、あさって30日に下町の地区で下町独自のお祭りを開催します。24日から小学生中学生がお囃子の練習に参加しています。皆さん3年ぶりなのでとても緊張して練習していますが発表の場があるということが非常に子供達にとって素晴らしいことなので皆さん頑張ってもらいたいと思います。

このお祭りに関する事柄はロータリー活動の青少年育成事業です。子供たちが健やかに育ち、地域に溶け込み、世代を超えた交流の実践です。今後も次世代の方々が受け継いでいただければと思います。

以上で会長の時間を終わらせていただきますありがとうございました



幹事報告

- 1) 例会に先がけてのガバナーとの懇親会の報告
- 2) 8月4日の例会の会場は富士見です
- 3) 8月18日の例会は通常通りです
- 4) 8月25日の例会はガーデンパレスですが12時開会でいつもより30分早い開会です
- 5) コロナ感染拡大の折 入場時に検温、消毒、マスク着用、食事は黙食のお願い。
- 6) 昨日の例会案内の日付の訂正とお詫び

来訪者紹介



地区幹事: 日向秀一様



ガバナー補佐: 新井裕喜様

国際ロータリー 第2570地区

2022-23年度

地区ガバナー: 村田貴紀様

村田貴紀ガバナー 卓話

行田ロータリークラブの皆様におかれましては、今日までの永きにわたり、「奉仕の理想」のもと国際交流や青少年の育成など奉仕活動を通して地域の「質」を高めていただいております、歴代会長をはじめ会員の皆様方のご尽力に、心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

今年度国際ロータリー会長であるジェニファー・ジョーンズ氏はカナダのオンタリオ州にありますウィンザー・ローズランドRCの会員でございます。メディアストリート創業者兼社長であり、ウィンザー大学の理事長など様々な職歴をお持ちの方でございます。

「過去は想像できません。未来を想像してくださいと申しております。」

国際協議会にて研修を受け、国際ロータリーの年次目標達成に向けて地区スローガンを「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」といたしました。



一人一人が、いかに明るい未来を想像し奉仕をすることかと思えます。

「イマジン ロータリー」。これが、ジェニファー・ジョーンズ会長が、2022年1月20日(木)に発表した2022-23年度会長テーマです。ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすことをロータリー会員に求めています。「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」



このロゴは、オーストラリア先住民族の現代アート、デザイン、コミュニケーションを専門とするアーティストでグラフィックデザイナーのリキ・サラム氏(Riki Salam)によってデザインされました。サラム氏は、メルボルンで開催される2023年ロータリー国際大会のロゴも手がけており、二つのロゴを視覚的な共通言語で結び付けています。

このロゴには、各所に深い意味が込められています。例えば、先住民の文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、7つの点は「人」をあらわすと同時に、ロータリーの七つの重点分野を表しています。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの道しるべになります。その下の太い線は、いわゆる「掘り出し棒」で、力仕事をするときを使うものです。行動を起こす人たちであるロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

緑、紫、白の3色は、必ずしもアボリジニの文化とは関係がありません。ジェニファー・ジョーンズ会長エレクトは、公式行事で服装を整える際、テーマジャケットではなく、これらの色(一つでも、三つすべてでも可能)を使うよう2022-23年度ガバナーに要請しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを強調していくにあたり、私たち一人ひとりが着るもので自分を表現しながら、つながりを持てるようにしたかった」とジョーンズ氏は説明します。

色の解釈は何通りかあります。例えば、紫は「ポリオ根絶」、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」を表しています。また、この3色を合わせると、女性参政権運動「サフラジェット」の色になります。これは、ジョーンズ氏が初の女性RI会長となることから、さりげなくその歴史に触れているのです。

ジェニファー・ジョーンズRI会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描いています。「イマジン ロータリー」のテーマを推し進めるため、「多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)へのコミットメントの強化」「みんなを温かく受け入れるクラブづくり」「女児のエンパワメント」「参加者基盤の拡大」の四つの会長イニシアチブに注力します。

では何をどのようにすればとの疑問が生じます。

知り合いを広めることにより奉仕の機会とすること。がロータリーの目的の1項にございます。

ロータリーは親睦と奉仕であります。この一文を読みましても繋がっていることが分かるかと思えます。

日本のロータリアンは、これをクラブにおける親睦活動と混同、誤解して、本来の意味を理解していない方が大多数のように思います。ロータリーの基盤は親睦(Fellowship)と奉仕(Service)にあつて両者を結びつけるのが寛容(Tolerance)だと創設者ポール・ハリスが語っています。両者は両輪として直進し、最初の動力伝達は親睦からとの言葉も残しております。

親睦は意義あるロータリー活動の原動力であることを認識し、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、広く世界に友情と親交の輪を広げるための全ロータリアン対象のロータリー親睦活動があることを衆知されたく思います。

ロータリー親睦活動はRIの国際奉仕部門における常設プログラムです。国際奉仕というと、ともすれば従来の世界社会奉仕(WCS)に代表される人道的ボランティア活動であるかのように思われる傾向があります。しかしながら、国際奉仕はロータリーの目的第4項の表現を借りれば、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあるように、ロータリー親睦活動はその一環であります。

親睦はロータリーの雰囲気の中でますます深まる。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。

(ポール・ハリス氏)

多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)をイマジンする

ロータリーが人びとが温かく迎え入れ、よりインクルーシブなコミュニティとなれるよう、各自が以下を行うことをジョーンズ会長は奨励しています:

1. ロータリーにおける DEI についてより良く理解する(定義の理解。互いの違いを尊重し、大切にすることなど)。
2. DEI がなぜクラブや地域社会にとって大切なのか、また、DEI の原則を取り入れることがいかにクラブの成長と強化につながるかを理解する。
3. DEI に対する認識を高める(地域社会を反映した、クラブの DEI 委員会の創設を含む)。
4. クラブや地域社会で DEI に基づいて行動を起こす(例: DEI について知識を深め、より効果的に推進できるよう、地域社会におけるさまざまなグループについて知る)。

みんなを温かく迎え入れるクラブ体験をイマジンする:心地よさと配慮

クラブの環境と体験がすべての会員と参加者にとって歓迎的で、インクルーシブで、楽しいものであるようにすることが大切です。調査によって分かっていることは、会員にとっての「心地よさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最大の要因であり、会員を維持するための最善の手段であるということです。これは、会員と参加者がロータリーとの関わりから何を求めているかについて耳を傾け、理解することから始まります。なぜ退会者が出るのかをより良く理解するために退会者アンケートを行うことも重要ですが、退会するまで待つ必要はありません。ジョーンズ会長は、新会員の要望や期待を理解するために、入会直後に入会者へのインタビューを行うことをクラブリーダーに強く促しています。もちろん、すべての既存会員に定期的にアンケート調査を実施することで、会員としての体験について意見や感想を伝える機会を与えることも重要です。

国際ロータリーの規定審議会は、2022年4月10日~14日に、米国イリノイ州シカゴにて開催されました。新型コロナウイルスへの配慮により、ハイブリッド形式の会合が企画・実施され、600名近い参加者を対象に対面式とバーチャル形式の同時開催を実現するための新しいプロセスが採用されました。

採択制定案 22-13

会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有する要件を削除する件
国際ロータリー定款を次のように改正する。

第5条 会員

第2節 - クラブの構成。

(a) クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、職業および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。上記に加え、以上のいずれの場合も、その事業場、またはその住居がそのクラブの所在地域内、もしくはその周辺地域にあること。クラブの所在地域外、もしくはその周辺地域外へ移転する会員は、理事会が承認し、さらに同課員がクラブ身分のすべての条件を引き続き満たしている場合、その会員身分を保持できる。

標準ロータリークラブ定款を次のように改正する。

採択制定案 22-46*

人頭分担金を増額する件

国際ロータリー細則を次のように改正する。

第 18 章 財務事項

18.030. 会費

18.030.1. 人頭分担金

各クラブは、各会員につき、次のように RI に人頭分担金を支払う。2019-20 年度には半年ごとに米貨 34 ドル、2020-21 年度には半年ごとに米貨 34 ドル 50 セント、2021-22 年度には半年ごとに米貨 35 ドル、2022-23 年度とそれ以降には半年ごとに米貨 35 ドル 50 セント、2023-24 年度には半年ごとに米貨 37 ドル 50 セント、2024-25 年度には半年ごとに米貨 39 ドル 25 セント、2025-26 年度に半年ごとに米貨 41 ドル。人頭分担金は、規定審議会によって改正されるまで変更されないものとする。

【2022-2023 年度 地区強調事項】

1. 「適応と改革を推進」

革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブ新設や変化をしましょう。

国際ロータリーより会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要と言われております。変化を受け入れることは、新しいクラブのモデルを受け入れること、と語るジョーンズ氏は、次年度に革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立することを次期ガバナーに求めました。既存クラブも時代に即して変化をしましょう。

「クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるように、会員が積極的に参加できるようにしましょう」

2. 「デジタル化の促進」

ロータリー活動が止まることないようハイブリッドを導入しましょう。

このコロナ禍により必要に迫られた状況下においてオンライン活用が採用されております。しかしながら時代のオンライン化の波も来ております。オンラインでの研修や会議なども良いところ悪いところを合わせ持っておりますが、全国や世界とオンラインにて「つながる」ことにより「奉仕への機会創出」になっている部分もございます。やはりオンラインでは充足できないリアルの良いも十二分でございます。リアルとオンラインを併用して頂き有事の際にも適応できることが重要です。

「ロータリー活動が止まることないようにしましょう」

3. 「国際ロータリーで推進しロータリー財団で達成を目指す」

地区補助金・グローバル補助金を活用し地域や世界とつながりましょう。

ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。国際ロータリーとロータリー財団は両輪とも言われております。使命にもございますが、国際ロータリーで推進をし、ロータリー財団で達成または構築することを意識して頂き、奉仕の実践へ繋げて頂けたらと思います。

「地域や世界を変える行動人であることを意識しよう」

4. 「DEI (多様性・公平さ・インクルージョン)を推進」

さまざまな障壁を取り除きましょう。(インクルージョンは会員増強のカギ)

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動するというビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブな文化を培うことが不可欠であります。次年度 DEI の推進が最重点項目となっております。DEI の推進をお願い致します。

「全てを受け入れる体制を強化しよう」

5. 「行動規範の徹底」

ハラスメントをなくしましょう。影口・悪口・誹謗中傷はなくしましょう。

ロータリアンの行動規範と DEI の行動規範がございます。公式名簿の裏表紙にも長きに渡り記載されていた奉仕の理念(理想)がございます。「思いやる気持ちを持ち人のために尽くす」とあります。特にロータリアンの行動規範第4項・5項に注視して頂きたいと思っております。

「改めてハラスメントのない地区を目指しましょう」

想像をしてください。クラブの 5 年後、10 年後もしくは 15 年後…、クラブ会員は増えていますか？時代に即した魅力あるクラブ
になっているでしょうか？

そのために、クラブは戦略計画を、そして未来計画を立ててください。

地域内にある他団体ともつながり、奉仕を実践してください。人道的支援活動を実践するためにロータリー財団の地区補助金
を是非活用し、地域社会さらには世界とのつながりを持ち、ロータリーの目的でもある「知り合いを広めることにより奉仕の機
会とすること」を実践しましょう。

共に RI 年次目標達成のために、力を合わせましょう。

出席・ニコニコ報告



出席・ニコニコ松本委員長

出席状況報告
正会員数 58 名
参加者 36 名
出席率 62.1%
ニコニコ報告
6,000円

○岡田会長/ 村田ガバナー様、日向地区幹事様、新井ガバ
ナー補佐様 ようこそ行田 RC へ。歓迎致します。

○坂田幹事/村田ガバナーようこそ行田へお越し頂きました。

○福島会員/村田ガバナー様 ご来訪有難う御座います。

○坂本研一会員/村田ガバナー様ようこそ行田へ。本日は
宜しくお願い致します。

《本日の司会進行》

武笠会員

「お疲れ様でした！」

